

# 今井城学園通信

社会福祉法人 天使園  
児童養護施設  
今井城学園  
青梅市今井 2-1207-8  
発行日 2018年2月  
第14号

## 園長あいさつ

小田川広明

明けましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。皆様のご支援により子どもたち及び職員は元気に新年を迎えることが出来ました。

さて、東京都では児童養護施設で暮らす子ども一人一人に「子どもの権利ノート」を配布しています。子どもたちが守られるべき権利について説明しています。今井城学園では、平成29年8月に東京都の職員から、子どもたちへ「子どもの権利ノート」について説明をしてもらいました。

また、本園に3カ所、各グループホームに子どもたちが自由に意見を入れられる意見箱（通称トトロの箱）を設置しています。

さらに、「毎年福祉サービス第三者評価」を受診しています。今井城学園背では様々な背景を持った子どもたちが生活しています。施設に求められる機能も多様化してきています。

子どもたちが快適な生活をどのように送れるのか、子どもたちの権利をどのように守っていけるのかを常に考えています

平成29年度も残り数ヶ月となり、学園を巣立つ子どもたちが社会に出てお互いの権利を尊重出来る社会人になることを望んでいます。



## 学園紹介シリーズ

No.14

### 「自立支援コーディネーター」という役割

自立支援コーディネーター：今井 紀充

□「自立支援コーディネーター」とは、まだ日の浅い専門職です。どういった事をするのか簡単にですが、説明させていただきます。皆さんは、いつ「自立」をしましたか？高校卒業時？大学卒業時？結婚を機に？今思い返せば、「あの頃かな？」と思う時はあると思います。しかし、施設を退所（主に年齢が18歳になった時）する時、「自立」を意識せざるを得ない状況を迎えます。就職、進学に関わらず多くの児童がこの時から一人暮らしを始めます。

一人暮らしを経験された方は思い出してください。どうだったでしょうか？色々な事で、悩んだり、困ったりしませんでしたか？その時、どう解決しましたか？親御さん、ご家族、親友、色々な方が思い浮かびますか？しかし、退所児童には、その親や家族に相談できない方もいるのです。そんな時の為に、この専門職が生まれました。

もうほとんどの都内の施設には、この職員が配置されています。ベテランから若手まで、毎日、多くの職員が、様々なアフターケアをしています。その様な中で段々と「自立支援コーディネーター」という専門職の役割というものが明確化されて来ています。

私がこの職を任じられて3年が経ちました。多くの勉強の機会を頂き、感じた事は退所者支援（アフターケア）の重要さと同時に、現在入所している児童への「自立支援」の重要さを感じました。入所児童への支援は、また別の機会にご紹介できればと思います。

# 青梅市民生児童委員として

主任児童委員 神山典久

青梅市民生児童委員で主任児童委員を務めさせていただいております、神山典久です。

本業は食品関連の会社を営む傍ら、主任児童委員は非常勤の公務員として、主に18歳未満の方に関わる相談等を各関係機関につなぐ活動となっております。みなさんは、スマートフォンは持っていますか？私は、そういったものが好きなこともあり公私共にパソコン、スマホ等を活用しています。どこにいても、すぐに調べ物ができたり人と連絡が取れたり、今では日常生活では欠かせないほど大変便利なものです。

しかし、とても便利であるがゆえに使い次第ではとても危険な道具だと常に意識しながら、使うように心がけています。携帯やスマートフォンが普及してきたなかで、同時に人との連絡手段も大きく変わってきました。電話だけでなく、メールやメッセージアプリ、その他のSNSなど世界中どこにいてもいつでも簡単に人と繋がれるようになっているのです。最近、メールやメッセージアプリ等でのやり取りの中で気になることがあります。二つの質問を送ると片方の答えしか返信されないのです。例えば、「何時ごろ来ますか？今日の昼食は何にしますか？」と、送ると「ラーメン」とだけ返信が来たりするのですが、これは受け取った側がちゃんと内容を理解しないまま返信しているのかもしれませんが。もしかすると、画面上の文章は印象が薄いのかもかもしれません。

そこを踏まえて送る側も、質問を送らなくてはいけないのかもしれませんが。もちろん、実際に行き会って会話をしている、話の食い違いは起こります。

文字でやり取りする場合は、送る側も受け取る側もより一層気を付けなければならないといけません。

他にも、ゲームや動画、SNS等たくさんの情報も溢れていますので依存症にならない方が難しいのでは？とも思ってしまうこともあります。

また、こんなに簡単に情報を全世界に発信出来て、情報過多な世界を見ていると自分も画面の中と同じだと勘違いしてしまい、承認欲求等から確認不足のまま出してはいけない画像、動画や言葉を発信してしまうのかとも思ってしまう。しかし、機器の開発技術や解析技術、それらを悪用しようとする人間は常に自分の考えられる範囲のかなり先を行っていることを忘れてはいけません。「面白いから」、「楽しいから」、「このぐらいなら大丈夫」と思っている自分の範囲を今一度見直してみた方が良いでしょう。自分が犯罪やトラブルに巻き込まれたり、自分が犯罪者にならないように、送信ボタンを押すのは、ぜひ一呼吸おいてから押してみてください。それからでも、遅いということはないですよ。

## 職員リレーコラム (.) 職員自己紹介 その14

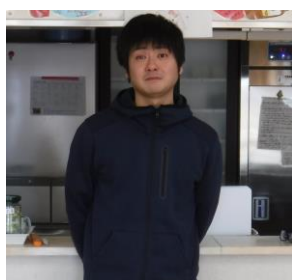
はじめまして。グループホームみきで働いております。今年度で4年目になる工藤達郎と申します。

今年度のグループホームみきは高校生が2人、小学生が4人で生活しています。いつも騒がしく、うるさ過ぎる位、元気な子どもたちです。

子どもたちになかなか思いが伝わらず、苦勞している所もありますが、子どもたちが卒園して大人になった時に、学園での生活を思い出し人生を良い方向に進めて行ける様な経験をさせてあげられる様に日々努力しております。

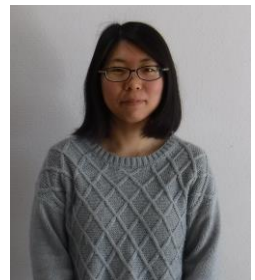
また、大切にしてくれる人がいる、可愛がってくれる人がいると感じ、安心して生活する事が出来る様な子どもとの接し方を

心掛けています。いつか、「あの時は、大切にしてくれていたな。」と子ども達が思い返せる様な時間を作れるように、日々邁進して参ります。



初めまして。今年で入職して3年目になる横田友恵と申します。今年の4月からGH「いぶき」の職員として働いております。それまでは本園3階サクラホールで働いておりました。

本園では大きな調理室で調理職員さんがご飯を作ってくれていますが、GHではリビングにいる子ども達の様子が良く見えるキッチンで、GHの職員がご飯を作っております。その他にも家庭的な面が沢山あるのが特徴であるGHは子どもの年齢が高い為、思春期真っ盛りな子もいたりします。時にはピリピリとした空気になる事もありますが、皆揃った食卓で温かいご飯を食べたり、リビングにある大きなソファで団欒の時間を過ごした事が大きくなってから子ども時代を振り返った際の良い思い出になる様に、毎日精一杯子ども達と過ごして行きたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



# ほっと・ファミリー

ファミリー・ソーシャル・ワーカー 吉澤恵子

連載14回目。新しい年を迎え学校や職場は年度末を迎えます。学園で生活している高校3年生の子ども達は、いよいよ学園を巣立って行く季節を迎えます。ついこの間、卒園生を送り出したばかりなのに、また、新しい子ども達を送り出す時期を迎えることとなりました。

昨今、高校も無償化となり大学進学の特待制度の充実が進み、児童養護施設の子子ども達も専門学校や大学進学の特待が増えました。しかし、そこに大きな落とし穴がありました。

大学進学の特待は奨学金を宛がう事が出来ても、生活を維持する費用を捻出するには、児童養護施設の子子ども達は自分でアルバイトをしてお金を作るしか方法がありません。大学へ通って勉強をして帰ってからアルバイトをする。遅くまでのアルバイトで疲れ学校の勉強が疎かになる子。中には、アルバイトが本業になってしまって大学を辞めて方向変換をする子。アルバイトを見つけて仕事に就けても本人の特性上の問題でクビを切られて仕事が無くて生活が出来なくなる子・・・等々。順調に4年間大学に通い卒業出来る子はなかなかありません。

退学をすると奨学金については、辞めた翌月から返済が始まります。多額の借金を返済しながら生活もして行かなくてはなりません。甘い考えで進学をすると、借金と言う重い荷物を背負うことになってしまいます。将来を考えて選んだ進学と言う道が、人生の躓きの第一歩となってしまいます。本当に真剣に何度も何度も話し合いを重ねて結論を出さないといけない事を痛感しております。一見、社会の情勢は明るくなっている様に見えますが、実は厳しい状態である事を再認識している昨今です。

一般ご家庭のお子さんでも同じ状況であると思われそうですが、親や家族や親族がいる事が大きな支えとなり、躓いた時の回復力には格段の差があると思われそうです。支えのない子ども達は一気に倒れてしまいます。

進路と言う大きな時期を迎える時、子ども任せにせずあらゆる資源を集めてとことん話し合いを行った上で、結論を出す事が非常に大事である事を、大勢の卒園生を送り出した施設職員として痛感致しております。とことん話し合うことから逃げないで行きましょう！



## こころの窓

心理士

長嶋 彩

子どもに対して「困ったことがあったら何でも話してね。」と伝えたことがある方は多いと思います。でもなかなか本当のことを話してくれないことも・・・「子どもが何を考えているかわからない！」という負のループにはまってしまうことはよくある事だと思います。なぜ子どもは素直に話してくれないのでしょうか？

なぜ「何でも話してね。」と言われていたのに本当のことを話せないのか。それは子どもだけではなく、大人も同じで、困りごとが深刻な問題の場合、語ることで嫌な気分まで思い出され、もう一度傷つきたくない・傷つくなら黙っていた方がまだから、話をしてみても相手は自分を受け止めてもらえるのか、怒られないか不安があるから等、きっとそこにはその人なりの理由があるのではないのでしょうか。それでも話すとなった場合は、傷つくことを覚悟して話しているのです。

私が日常心がけていることは、「この人だったら自分の話しても大丈夫そう」と少しでも思ってもらえるように、相手との関係性を大切にしています。人は主観で相手に先入観を持ち、相手に対してレッテルを貼ってしまうことがあります。その先入観のせいで認知が歪められ、事実が見えなくなることも。そうならないよう、面接場面では白いキャンバスに色づけしていくようなイメージで相手の話を聴くことを意識し、日々子ども達と向き合っています。色が塗り切れていない部分は素朴に質問をし、理解したいという気持ちが伝わることを願いながら日々面接しています。

相手を変えよう・変わってもらおうと思わないこと。人には意志があるのですから、自分以外の人を操作することは出来ません。人が変わるときには、何か気づきがあれば自らの力で変わっていきます。子どもにその気づきを促し、助けていくのが大人の役割ですが、その役割を果たす為には、まずはベースとなる関係作りが大切です。あなたなら、どんな人に話を聴いて欲しいですか？

# レッツ・クッキング

栄養士 原口康子

「ごはん（おかず）はよく噛んで食べるようにしています！」と気にかけて食事をしている方はどれくらいいるのだろう…。私はすぐに飲み込んでしまう早食い派です。いけないなあと思いつつも…。子どもたちも苦手で柔らかいものを好みます。

“よく噛む”とどんな良いことが？①肥満防止になる？（食べ過ぎ防止）②胃腸に負担がかからない③唾液が多く出ること虫歯予防④脳の働きが活発に など、他にもたくさんの効果が期待できるようです。

そこで…咀嚼の日を密かに作り、子どもたちに提供をしています。ごぼうの千切りやササガキで金平を作ることが多いと思いますが、当園では太く切ったごぼうで金平を作っています。（時々、細い金平を提供すると「食べやすい!!」という反応が返ってきますが…。(。^;)）太いと火の通りや味の入り方が悪いのでは？と思われるかもしれませんが、大丈夫！今回は噛みしめて食べる太〜い金平をご紹介しますと思います。

【材 料】 4人分

【 作り方 】

ごぼう 1.5本

①ごぼう 長さ4~5cm 太め→1/4

人 参 1/2本（小さめ）

細め→1/2

油 適量

人 参 同じような太さにカット

醬 油 大さじ1 1/4杯

②油を引いたフライパン（鍋）に人参を入れ

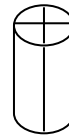
砂 糖 大さじ1 1/3杯

1分弱炒めたところでごぼうをいれる。

ごま油 小さじ 1杯

③中火で2分弱炒めたところで砂糖、醤油の

順に入れ味をつける。最後にごま油で香り付け。



## 継続は力

学習指導員 寺林隆一

私が進学した高校は都立の「受験校」でした。第二学年で高校三年間の教科書の学習を終えて、第三学年では主に受験勉強をするという、すさまじい学校でした。

この頃の私は、学習意欲がかなり高くなっていたので、毎日の厳しい授業がさほど苦になりませんでした。

ところが、第一学年の英語のサイドリーダー『荒野の呼び声』ジャック・ロンドン著の授業は大変でした。何しろ、予習において一ページに調べなければならない英単語が数十語ありました。それらの英単語の意味を辞典で調べるだけで精一杯で、文章の意味を解釈することがあまりできませんでした。あとは、授業で先生に教えていただければと期待して臨むのですが、先生の説明を聞いてもちんぷんかんぷん。おかげで、テストでは赤点を取ってしまい、補習授業（生徒たちは「残り勉」と言っていた）を受けなければならない屈辱を受けました。

しかし、このようなことにも耐えて、あきらめずに勉強に打ち込みました。第二学年になると光が差し込み始めました。

「継続は力」です！

**編集後記** おかげさまで「今井城学園通信」第14号を発行することができました。この通信を通じて、今井城学園を地域の皆様に広く知っていただき、職員の持つ専門知識が皆さまの生活に少しでもお役に立てればと願っています。記事の内容に関して、ご質問、ご要望等がございましたら、下記の連絡先まで遠慮なくご連絡ください。（編集委員）

今井城学園 電話 0428-31-2277 e-メール info@imaijyo.or.jp

ホームページ http://www.imaijyo.or.jp



